

平成 31 年 第 1 回定例道議会報告

北海道議会議員 北 口 雄 幸

- 【所属会派】** 民主・道民連合議員会
- 【会派役員】** 幹事長
- 【所属委員会】** 水産林務委員会理事、新幹線・総合交通体系対策特別委員会委員
- 【党活動】** 立憲民主党北海道第 6 区総支部副代表、同士別ブロック代表
- 【議会活動】** 林活議連事務局長、農政議連副会長、がん対策議員の会幹事長ほか
- 【日 程】** 平成 31 年 2 月 15 日（金）～3 月 6 日（水）
- 【代表一般質問】** 第 1 回定例道議会は、2 月 15 日（金）に開会、2019 年度予算、2018 年度補正予算、

「北海道主要農産物等の種子の生産に関する条例」、「道立北の森づくり専門学院条例」などを可決し、3 月 6 日（水）に閉会した。

会派の代表格質問には、橋本豊行議員（釧路市）が立ち、知事の政治姿勢、交通政策、災害対策、医療・福祉施策、一次産業振興策、経済・雇用対策などを質疑した。

また、一般質問では中川浩利議員（岩見沢市）、池端英昭議員（石狩地域）、菅原和忠議員（札幌市厚別区）が、当面する道政課題、地域課題について道の取り組みを質した。

私・北口雄幸は、予算特別委員会の各部審査において、農政部に対し「収入保険制度について」、「国際貿易協定について」、「小規模農家を守る施策について」、総合政策部に対しては「人口減少問題について」を質疑してきた（詳細は別紙のとおり）。

- 【主な審議経過】** 統一自治体選挙を前にした私たち道議や知事にとって、任期最終の定例会であった。高橋知事は、4 期 16 年で道政トップを退き、今後は国政に転じる意向を示しているが、今定例会でも自らの言葉で語ることなく知事の座を去ろうとしている。

安倍政権の乱暴な政策運営やそれを丸呑みし、自治体や道民に丸投げするばかりの知事の道政運営が、地域を苦境に追い込んできた。知事は、就任以来、財政再建や支庁改革、人口減少対策等を次々に道政テーマに掲げてきたが、いずれも成果はあげられず、道内人口は、16 年前と比べ、約 37 万人も減少し、約 530 万人になった。暮らしを支える基盤である医療では医師や看護師等の減少・偏在が進み、教育でも小中高校の統廃合が続いた。

J R 北海道の維持困難路線への対応経費は新年度予算に計上されなかった。そもそも、国が支援策を示さなかったことから、市町村は検討すらできないでいる。道がリーダーシップを発揮しなければ事態は動かず、地域が追い込まれていくばかりである。わが会派としては、早急に今後の方向性やスケジュールを示すことを求めたが、知事の反応は極めて鈍かった。

また、カジノを軸とする I R の誘致については、この間、自身の判断をあいまいにしながら、誘致方向としか思えない作業が進められてきたわけだが、今定例会中に知事としての誘致判断が突然、打ち出された。しかし、道の検討は、政府の方針と同様に、経済効果や雇用効果ばかりを強調し、ギャンブル依存症対策や環境保全等の課題の対応は形ばかり。道の説明手法や道民意見の聴取のあり方は極めて不十分なままである。

外国人材の受け入れ拡大は、改正入管法の施行が 4 月 1 日に迫っているにもかかわらず、受入環境整備の具体像は一向に見えない。外国人材の受け入れは、人手不足が深刻な道内でも期待は強いが、それだけに、労働環境の確保、受入環境の整備をしっかりと進める必要がある。それに失敗すれば、外国人材に敬遠されることにつながりかねない。昨年秋に急浮上し、国の検討はいまだに不十分にもかかわらず、知事は、国の指示待ち、

具体的な対応は自治体まかせの対応で、道が率先して課題の解決に取り組む姿勢は見えない。

このほか、発効直前から牛肉やワイン、チーズ等の輸入が急増し、道内でも影響が強く懸念される国際協定、日本側の主張ばかりが後退して見える北方領土等々、多くの課題が未解決のまま、次の知事に託されることになった。こうした課題についても、統一自治体選挙で道民とともに議論が進められることになる。

平成 31 年度の道予算は、統一自治体選を控えての骨格編成。予算規模は一般会計 2 兆 6,097 億円、特別会計 1 兆 1,384 億円、合計 3 兆 7,481 億円で、一般会計の規模は、平成 30 年度の当初予算案を 5.1% 下回った。義務的経費の計上額を 7 月分までとするなどして規模を抑制、次の知事が選挙後の第 2 回定例会で政策的な補正措置を行うことになる。なお、昨年 9 月の胆振東部地震の復興費として 281 億円が計上された。

また、今年度の補正予算は、開会初日に公共事業費等の 1,260 億円が提案され、さらに最終の整理補正予算は、一般会計で 466 億円の減額、特別会計で 21 億円の増額。この結果、平成 30 年度の道予算の規模は、一般会計 2 兆 9,363 億円、特別会計 1 兆 1,213 億円の合計 4 兆 576 億円となった。

【平成 30 年度第 1 回定例会補正予算】

単位：千円

	一 般 会 計	特 別 会 計	合 計
前回までの計上額	2,856,894,323	1,119,168,261	3,976,062,584
1 定冒頭補正額	126,003,552	0	126,003,552
1 定最終補正額	△46,590,533	2,134,588	△44,455,945
1 定補正額計	79,413,019	2,134,588	81,547,607
合 計	2,936,307,342	1,121,302,849	4,057,610,191

【平成 31 年度当初予算】

単位：千円

	一 般 会 計	特 別 会 計	合 計
当初額(骨格予算)	2,609,664,272	1,138,394,302	3,748,058,574

【議決された主な条例】

- * 北海道主要農作物等の種子の生産に関する条例
- * 北海道立北の森づくり専門学院条例
- * 北海道森林整備等支援基金条例

【採択された決議・意見書】(◎は政審発議、○は委員会発議)

- 精神障がい者も含めた医療制度の創設を求める意見書
- 「水産政策の改革」における本道の実情を反映した対応を求める意見書

【広報等】

- * *道政報告「ゆうこう便り」の発行 2019 年 1 月(冬号) 61 号
- * ホームページの開設 2007 年 7 月開設、ブログは毎日更新中 <http://y-kitaguchi.net/>
- * FaceBook でも情報発信中 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100005834470895>

「北口ゆうこう」奮闘日記 →

